

千葉県外来昆虫について

2024年2月21日

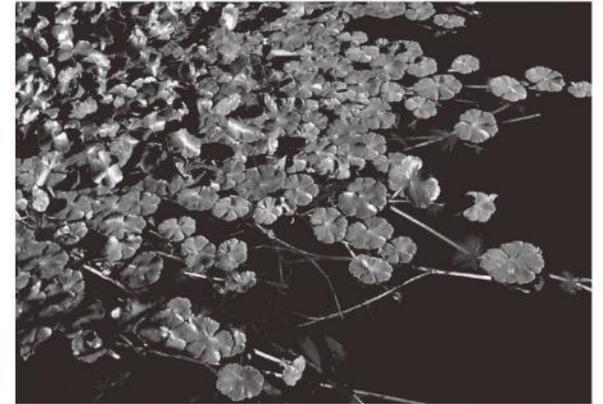
千葉県生物多様性センター
大島 健夫

千葉県外来種と外来昆虫

国内には、少なくとも2000種を超える外来種がいるが、千葉県内では1353種の外来種が記録されている。うち**昆虫は171種**（外来生物リスト2020年改訂版）。

令和5年9月1日現在、159種の動植物が特定外来生物に指定されており、千葉県内では46種が確認されている。うち**昆虫は5種**。

千葉県の 外来生物リスト 2020年改訂版



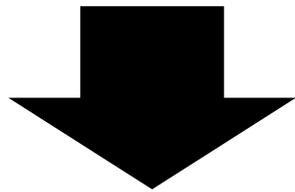
目次	1. 概要	1
	2. 千葉県の外来生物リスト2020年改訂版	14
	3. 変更点一覧	33
	4. (抜粋)影響度Aの外来生物	36
	5. 索引	40

2020年3月
千葉県環境生活部自然保護課

外来種とは…

人の働きによって、

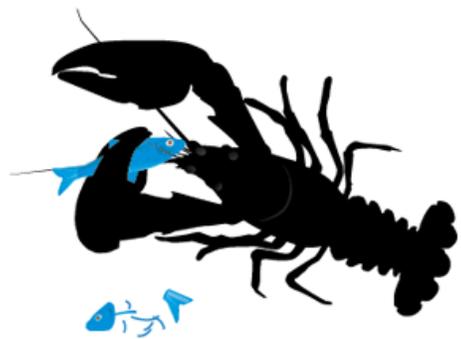
国内外を問わず、本来のすみか
ではない場所に持ちこまれた生
き物のこと



渡り鳥や回遊魚、ウミガメなど
は、外来種ではない。



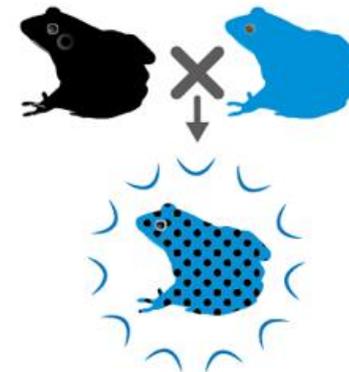
外来種の影響…



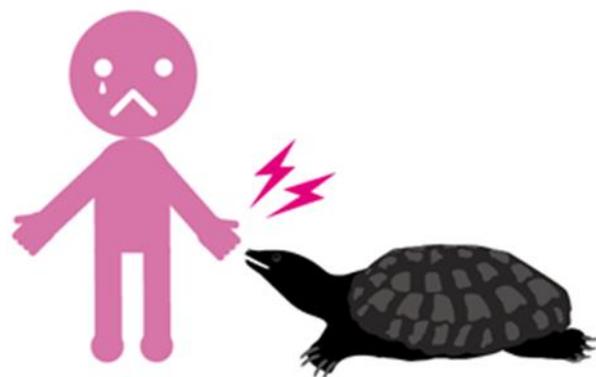
捕食



競争



遺伝的攪乱



人への危害

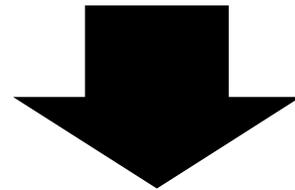


農林水産業への被害

外来生物とは…

法律用語。

外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）によって定められた、「海外から我が国に導入されることによりその本来の生息地又は生育地の外に存することとなる生物」



つまり、いわゆる国内外来種は含まない。



特定外来生物とは…

明治時代以降に日本に入り込んだ外来生物の中で、農林水産業、人の生命・身体、生態系へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から、外来生物法に基づき指定された生物。

<特定外来生物で規制される事項>



(環境省HPより引用)

分類	行為（対象：特定外来生物）	罰則（懲役または罰金）	
		個人	法人
輸入関係	許可なく輸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年以下 または ・ 300万円以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1億円以下
	許可なく輸入した場合（※未判定外来生物）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年以下 もしくは ・ 100万円以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5千万円以下
販売関係	許可を受けていない者に対して販売や配布をした場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年以下 もしくは ・ 300万円以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1億円以下
飼養関係	許可なく飼養等をした場合（販売・配布目的）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年以下 もしくは ・ 300万円以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1億円以下
	許可なく飼養等をした場合（愛がん（ペット）等の目的）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年以下 もしくは ・ 100万円以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5千万円以下
	偽りや不正をして飼養等の許可を受けた場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年以下 もしくは ・ 300万円以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1億円以下
放出関係	許可なく野外に放ったり・植えたり・まいたりした場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年以下 もしくは ・ 300万円以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1億円以下

特定外来生物・ヒアリ



原産地：南アメリカ

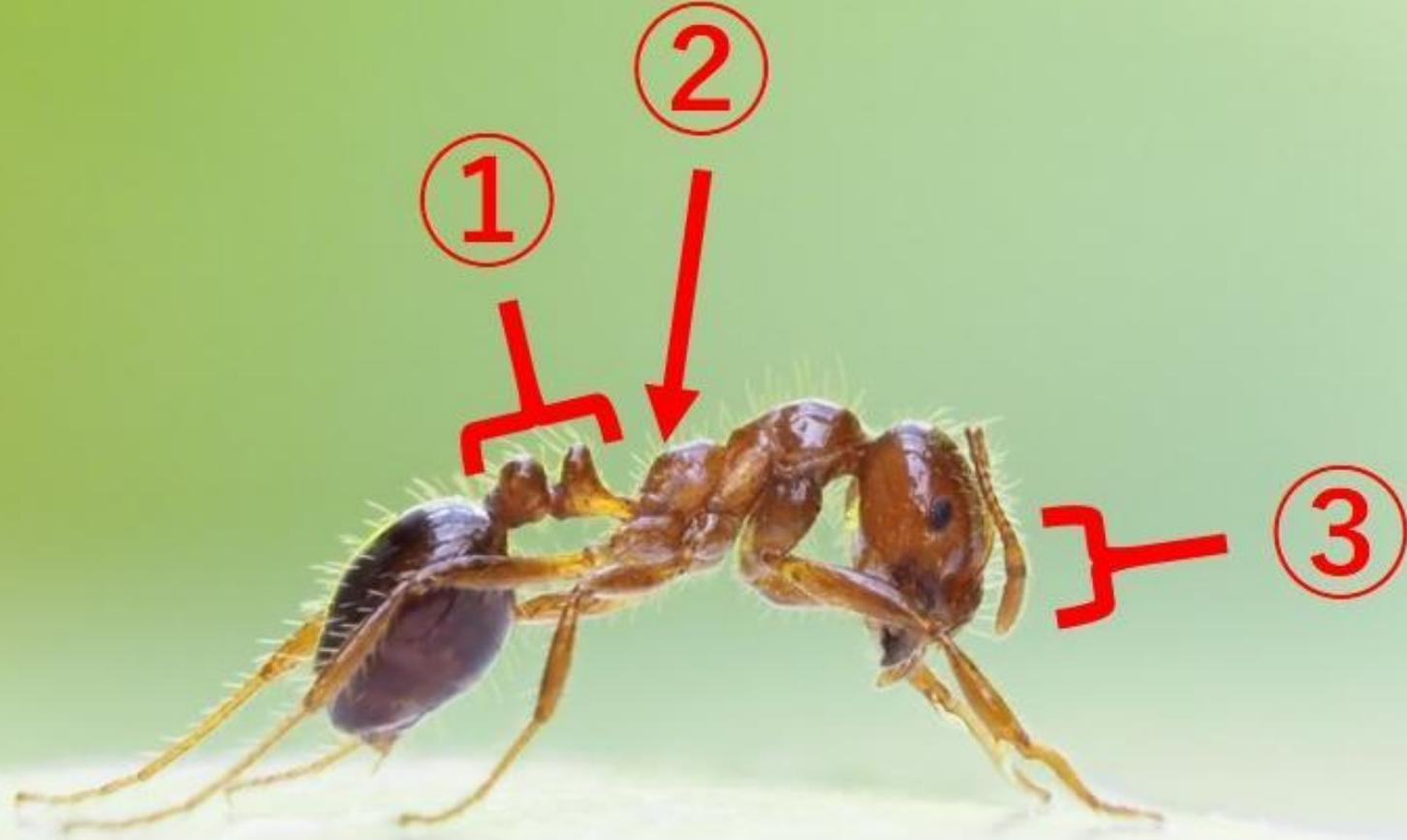
体長3～6mmの赤いアリ。

攻撃性が強く、刺されると火傷のように痛むことが和名の由来で、最悪の場合、アナフィラキシーショックを起こす。

国内での定着はまだ確認されていないが、各地の港湾や倉庫で断続的に見つかっており、注意が必要。

ヒアリと間違われやすい生きもの





- ①腰の部分のふくらみの数（2つ）
- ②胸の部分のトゲの有無（トゲはない）
- ③触角の節の形と数（先端2節が大きい）

特定外来生物・セイヨウオオマルハナバチ



原産地：ヨーロッパ

黒と黄色の縞模様のふさふさした毛に覆われたマルハナバチ。在来種と比べて大きい。

90年代初めから輸入され、農業資材としてトマト等の温室栽培の受粉に利用された。

餌資源や営巣場所を巡って競合し、在来のマルハナバチを減少させ、また在来種との交雑や盗蜜により在来植物の受粉を阻害する影響も指摘されている。

特定外来生物・アカボシゴマダラ



原産地：
千葉県で見られるものは中国

日本国内では奄美大島や徳之島に自然分布しているが、90年代以降、それとは異なる中国産の個体群がマニアにより人為的に放蝶され、首都圏一円に拡散した。

在来のオオムラサキやゴマダラチョウなどとの競合が問題となっている。

特定外来生物・ツヤハダゴマダラカミキリ



原産地：中国・朝鮮半島

体長20～35mmのカミキリムシ。木材に混じって移入されたと考えられる。

在来種のゴマダラカミキリと非常によく似ている。

様々な樹木に寄生し、被害を及ぼすことから、国際自然保護連合（IUCN）の定める「世界の侵略的外来種ワースト100」にも選定されている。

令和4年7月、千葉県でも初めて、野田市内の公園で確認された。



外来種
ツヤハダゴマダラカミキリ

在来種
ゴマダラカミキリ

首元の白紋

白紋がない

白紋がある

突起が
ない

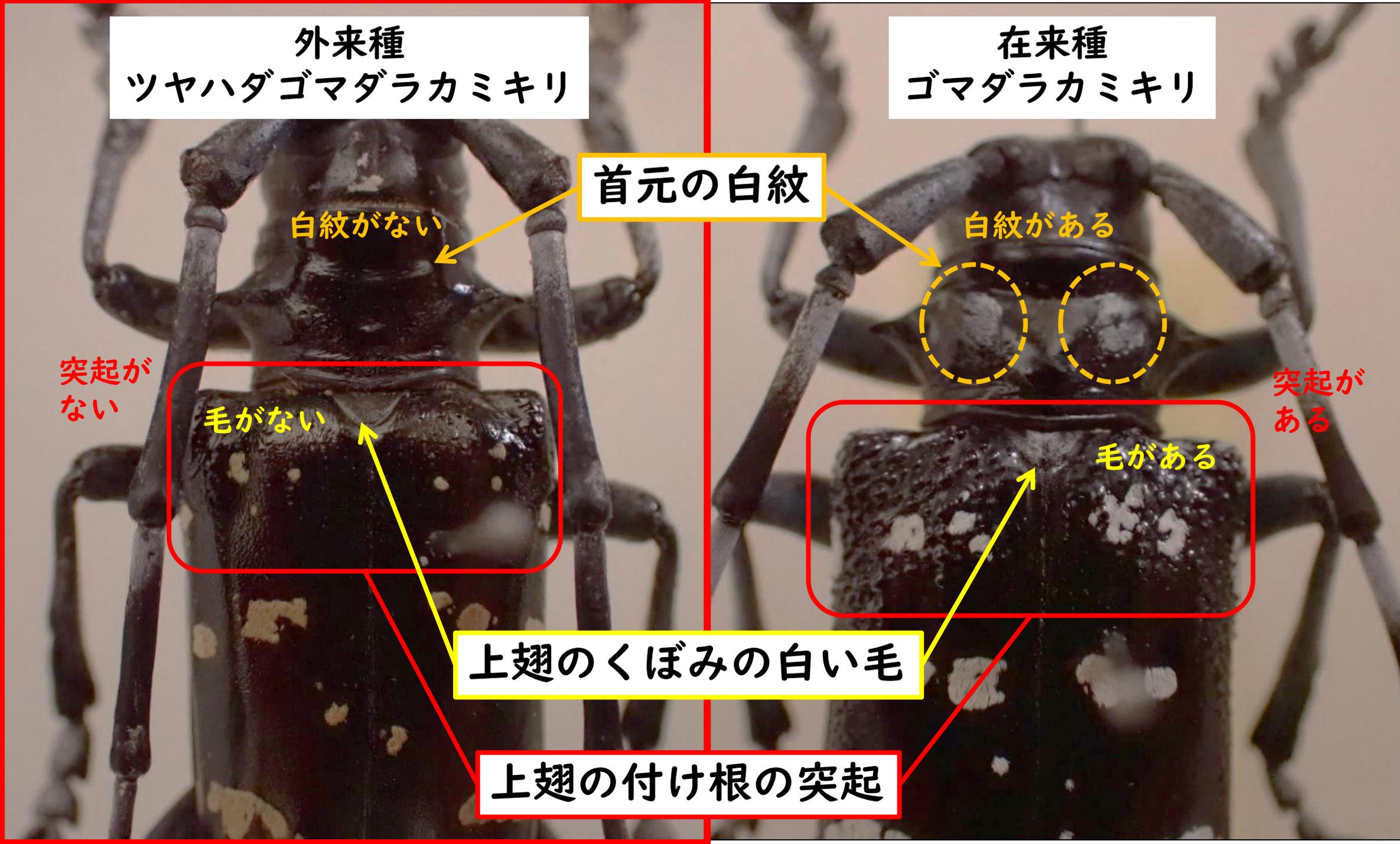
毛がない

突起が
ある

毛がある

上翅のくぼみの白い毛

上翅の付け根の突起



身近な外来昆虫



アオマツムシ



イセリアアカイガラムシ



アメリカシロヒトリ



ヨコヅナサシガメ



キマダラカメムシ



ラミーカミキリ

一度侵入するとあとが大変

外来種の拡大、影響の予測は難しい

できるだけ早い段階での対応が求められるが…

関心の低さ

それが外来種なのかどうか分からない

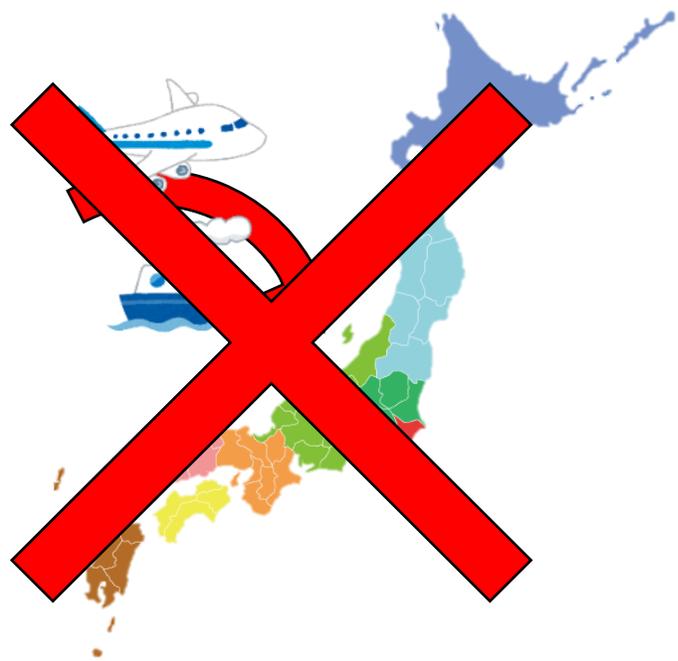
その影響も知られず、過小評価される



周知や理解を深めることが大切



外来種被害予防三原則



入れない



放さない

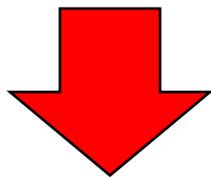


拡げない

身近に起きている変化に注意することが大切



身近な生き物や環境について、
日頃から敏感になっておくことこそが、



対応の早期化、長期的な分析への
活用につながります

ご清聴ありがとうございました。